



令和7年度人材育成事業費補助金の取り組み内容紹介

事業名：洋上風力ナセル国産化に向けてのAPQP4Windの普及及び人材育成

APQP4Wind®
<https://apqp4wind.org/>

商号 株式会社 ディクシア
代表者 代表取締役 秋川 雅文
設立 2021年10月11日
本社 秋田県湯沢市清水町四丁目4番6号
株主 (株)ダイテックテクノロジーズ (90%)
(株)インテック (10%)
取引銀行 秋田銀行、北都銀行、楽天銀行



ディクシアは、洋上風力発電の未来を支えるサプライチェーンの国産化に挑むスタートアップです。日本のものづくり企業が再びグローバル市場で競争力を発揮するためには、品質保証と人材育成の両輪が不可欠です。本事業では、APQP4Windの導入を起点に、国内部品メーカーが自信をもって世界の風車に部品を供給できる環境づくりを目指します。地域企業・自治体・大手メーカーと連携しながら、実効性のある育成・支援モデルを秋田から全国へ展開してまいります。

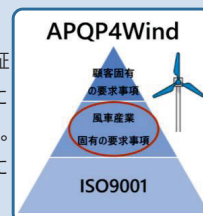
代表取締役 秋川 雅文

日本の洋上風力国産化における“鍵”
→ 国際品質基準（APQP4Wind）

APQP4Wind組織は、世界有数の公益事業者、風力タービンメーカー、サプライヤーによって支持される非営利・非政治組織です。

APQP4Wind手法を導入する利点

APQP4Windを通じて、企業は標準化された品質保証のアプローチを確立し、すべての部品やシステムが市場に出る前に厳格な品質基準を満たすことを保証できます。これにより、高額なリコールや修理の可能性を最小限に抑えるだけでなく、顧客満足度も向上します。



APQP4Windのトレーニング

認定されたAPQP4Windトレーニング提供者より、マネジメントトレーニング およびスペシャリストトレーニングに参加します。これは、APQP4Windの導入プロセスを円滑にし、品質保証プロセスに取り組む際の風力業界の共通の考え方を確立する上で重要な役割を果たしています。

APQP4Windを実装する

APQP4Windトレーニングを受講した従業員の指導の下、APQP4WindマニュアルとAPQP4Windツールボックスに従ってAPQP4Windを導入します。APQP4Windマニュアルは、顧客とサプライヤーの品質保証プロセスに関する整合性を確保するために設計されています。APQP4Windツールボックスは、ユーザーがAPQP4Windマニュアルに記載されているアクティビティを遵守するのに役立ちます。



令和7年度人材育成事業費補助金の取り組み内容紹介

達成事項

「事業名：洋上風力ナセル国産化に向けてのAPQP4Windの普及及び人材育成」

APQP4Wind 相談体制の準備	APQP4Wind スペシャリスト・マネジメントの資格取得。国内企業からの技術的な問い合わせに対し、自社で一次対応ができる体制を整えた。これにより、海外機関との橋渡しを含めた、国内向けの実務相談窓口としての活動を開始した。
グローバル品質基準の周知と理解促進	延べ190名以上の技術・経営層へ教育を実施。世界基準の内容を分かりやすく解説。参入を検討する国内企業に対し、「何が求められているのか」を整理し、サプライチェーン入り検討の土台となる情報の提供に努めた。
国産化推進に向けた産業ネットワークの活用準備	主要4団体・協議会への加入により、約500社の会員が参画するネットワークへ繋がる窓口を確保。具体的なマッチングを本格化させるための「スタートライン」を整えた。

実績（2025年7月～2026年2月）

APQP4Wind®

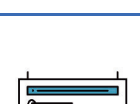
資格取得	APQP4Wind スペシャリスト 2名 APQP4Wind マネジメント 1名
団体/協議会加入	JWPA・MOPA・秋田風作戦・九州洋上風力関連産業ネットワーク
APQP4Wind 普及啓蒙活動	(団体) MOPA会員プレゼンテーション（会場165名・Web30名） (企業) 切削加工会社（役員4名） (団体) JWPA サプライチェーン部会（会場11名・Web2名） ※ JWPA会員Webページ資料・動画公開（会員数472社・20団体）
情報収集ネットワーク	(講習) 長崎海洋アカデミー（半日）オンラインセミナー受講 2名 (フォーラム等参加) GOWS(3日間)・MOPA定例セミナー 他 6会場 (訪問・Web会議) 18回（経済産業局・JWPA・風車メーカー 他）

今後の課題

- APQP4Windの更なる普及と「中小企業の参入施策」の追及
- 行政が担えない「実務的な企業間マッチング」の推進
- APQP4Wind認証取得企業のリスト化による信頼性の可視化
- 一般企業だけではなく、学生向けの活動を進める
- 欧州におけるAPQP4Windの運用実態の調査と、国内サプライヤーへの最新事例紹介



令和8年度以降の展望

APQP4Windの更なる普及と 「中小企業の参入施策」の追及		APQP4Windの資格取得（2025年9月）や更新（2026年2月）の実績を基盤に、単なる規格の紹介にとどまらず、日本独自の「ものづくり」の強みを活かしつつ、世界基準であるAPQP4Windをどのように無理なく導入できるか、具体的な導入モデルの構築を追求してまいります。
行政が担えない 「実務的な企業間マッチング」の推進		ディクシアは、行政がカバーしきれない実務領域を担います。具体的には、APQP4Wind取得企業の概要をデータベース化し、品質と信頼性を可視化することで、メーカーとのマッチングを円滑にする仕組みを構築します。
APQP4Wind認証取得企業の リスト化による信頼性の可視化		数万点の部品を誇る洋上風力という巨大な産業に挑むには、地域の壁を越えた『日本全体のネットワーク』が欠かせません。特定のエリア内だけで競い合うのではなく、日本中の優れた技術をひとつの大きな地図に描くことで、初めて世界と対等に渡り合えるようになります。日本中の素晴らしい技術が手を取り合える『横のつながり』を構築していきたい。
一般企業だけではなく、 学生向けの活動を進める		洋上風力発電が『憧れの職業』となるよう、次世代への啓発活動を本格化させます。地域自治体とも連携し、教育現場と手を取り合いながら、高専・高校・専門学校・大学と、それぞれの視点に合わせた「周知」の形を分析していきます。 学生の頃から洋上風力という産業を身近に感じ、将来の選択肢の一つにしてもらうこと。それが、これからの日本の風力を支える人財確保に繋がると信じています。洋上風力が『憧れの職業』になるきっかけを、一つひとつ丁寧に、そして着実ににつくってまいります。
欧州におけるAPQP4Windの運用実態の調査と国内サプライヤーへの最新事例紹介		欧州におけるAPQP4Windの運用実態に関する本格的な調査に着手してまいります。そこで得られる世界基準の最新事例を国内サプライヤーの皆さまへいち早く紹介・提供することで、日本の洋上風力発電のさらなる発展に貢献してまいります。